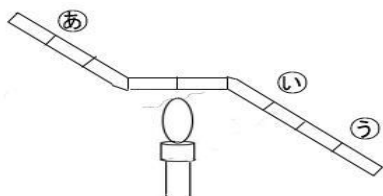


評価問題例

I 図のように、金ぞくのぼうをあたためて、あ、い、うがどの順であたたまるか調べます。



① あ、い、うはどの順であたたまりますか。

[]

② ①のように考えた理由を書きましょう。

[]

第6、7時で学習した内容を活用し、説明する問題である。授業の中で自分が実際にに行った方法、その他複数の考え出した方法についても理解していることが求められる。

第1～4時における学習内容を活用して考えられるかどうかを問う問題である。読み手に伝わるように説明させる。

II 水はあためると上の方へ動き全体があたまります。
水はあためると上の方へ動くことを確かめる方法を2つかきましょう。

[]

[]

評価問題のポイント

CLICK 評価問題シートはこちら

本単元は、主に、

- ①既習事項を活用して予想し、実験によって確かめる学習
- ②実験等を計画し、実施して考察する学習

から構成されている。

ここでは、学習内容を活用し、結果を問う問題を1題、原因を問う問題を1題、実験方法を問う大問を1題提示した。図、文章で分かりやすく表現する力も併せて問うものである。

問題Iと全く同じ実験は授業では行っていない。しかし4種類の「金属をあたためる実験」を通して「金属はあたためたところから順に熱が伝わる」ことを学習している。問題Iではこの知識を活用し判断、表現できるかどうかを評価する。

問題IIでは、1つの解決方法を発見することだけで満足せず、複数の解決方法を理解していることが求められる。自分の力で試行錯誤しながら見つけ出した方法、不明な点を質問したり再現実験を求めたりして納得して理解した他者の方法を分かりやすく表現することを求めている。